

NPO法人市民福祉団体全国協議会 FAX通信 2010年7月25日

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 1F 電話 03-6809-1091 FAX 03-6809-1093

～市民協は会員を応援します。～

○公的資金による研修 ○海外研修・ドイツ・オランダ(10月17日～24日) ○ホームヘルパー2級研修実施 ○シニアの社会参加促進映画『つぶより花舞台』の自主上映 ○NPO支援「自販機」(伊藤園)の設置 <介護人材募集:勤務先> 大田区、福島市、高崎市、桐生市、高松市、那覇市

「基金訓練」近況報告！！

「政策形成プロジェクト」7月29日開催

食アンケートにご協力ください。

「介護保険を持続・発展させる1000万人の輪」情報

お知らせ

「こうれいしゃ 死から生へ」

介護保険共同推進機構顧問弁護士 村田 光男

## 市民協会員が「基金訓練」に続々参加

### 名古屋教室は「受講生募集中！！」

本年春、市民協よりご案内させていただきました「基金訓練」に関する現状報告です。現在、全国15カ所で実施に向け取り組んでいます。名古屋では9月開講に向け現在受講生募集中です。

名古屋に続き10月には大分、鹿児島、えひめ、東京で開講予定です。

この基金訓練は、「無料で訓練が受けられ、受講中も給付金が受け取れます」みなさんのまわりに休職中の方がいらっしゃいましたらどうぞ声をかけてください。

「基金訓練」受講対象者は次のとおりです。

基金訓練は、訓練開始予定日において、次のイからニまでのいずれにも該当する方が受講することができます。

- イ 雇用保険の受給資格がないこと
- ロ ハローワークに求職申込みを行い、キャリア・コンサルティングを受けたこと。基金訓練の受講あっせんを受けたこと
- ハ 訓練を受けるために必要な能力等があり、就職のために訓練を受ける必要があると認められる者であること
- ニ 過去に公共職業訓練を受講したことがある場合は、訓練修了後1年以上経過し、かつ、平成21年6月8日以降に受講を修了した公共職業訓練の期間と、新たに受講しようとする訓練の期間とを合計して24か月を超えないこと

**□給付金の対象者とならなくても訓練を受けることはできます。**

詳細は市民協・古賀までお問い合わせください。

## 市民協の福祉政策の実現を迫るために

### 「新しい公共づくり」をめざした政策形成プロジェクト」の案内

昨年7月、衆院解散前夜といった雰囲気にも包まれた14日夜、「市民パワーと民主党の懇談会」が民主党本部で開催され、以降民主党の政策へNPOからの提言を聞き、マニフェストなどへも反映させるなど、こうした意見交換会を今後も定期的に関くこととなりました。

(参照：民主党HPより <http://www.dpj.or.jp/news/?num=16542>)

これを受けて、「新しい公共」づくりをめざした市民と民主党の政策形成プロジェクトが開催されることになり、NPOの制度、子育て・保育のあり方、環境、雇用、来年度予算について各プロジェクトが開かれました。そして、第6回プロジェクトのテーマは「福祉」で開催します。市民キャビネットでも提言していますが、活動団体の想いや地域福祉のあり方について、直に政治に反映させる機会にしたいと考えています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【テーマ】「政策形成プロジェクト - 福祉について」

【日時】7月29日(木) 15:00 ~

【場所】民主党本部5階 参加費無料

住所：〒100-0014 千代田区永田町1-11-1 TEL：03-3595-9988 (代表)

地下鉄 有楽町線 半蔵門線 南北線.....永田町駅下車 2番出口 (徒歩2分)

地下鉄 丸の内線 千代田線.....国会議事堂駅下車 1番出口 (徒歩5分)

【市民団体よりの発題者】

高畑敬一氏 (ニッポン・アクティブライフ・クラブ)、三宅陽子氏 (こぶしの会・練馬区)、島津禮子氏 (ふらっとステーションドリーム・横浜市)、伊藤みどり氏 (全国移動ネット)、島津禮子 (市民協代表理事)、西田京子氏 (たすけあい佐賀・宅老所)、村居多美子 (介護サービスさくら・名古屋市)、松下典子氏 (地域福祉サポート知多)、全国老人給食協力会、田中尚輝氏 (市民福祉団体全国協議会) 他を予定。詳細はこちらから

<http://www.seniornet.ne.jp/pdf/6-fukushibukai.pdf>

## 「食」問題へのアンケートへのお答えをお願いします。

市民協では、孤独死が年間3万人もでていることに対処する1つの方式として食の提供を会員団体が行えないか、と考えています。

そのためのアンケート調査表を送付しました。お忙しいと思いますが、ぜひともご記入の上、返送してください。よろしくをお願いします。

詳細はこちらから..... <http://www.seniornet.ne.jp/2010/07/post-12.html>

# 介護保険を改正し、福祉政策の転換をさせるために、市民協は、先頭にたって頑張ろう！

「介護保険を持続・発展させる 1000 万人の輪」が提言書を発表した直後、FAX 通信 4 月 15 日号の見出しです。この号で市民協は、会員の皆様に「介護保険法改正」にまつわるご意見を求め、政府に改正を働きかけようと呼びかけました。「介護 1000 万人の輪」は 4 月に大阪で、5 月には東京で公開政策討論会を成功裏に開催し、今後も 9 月に仙台で公開討論会を開催するなど活発に活動を展開していきます。しかし、残念ながら市民協会員からのご意見は全く寄せられておりません。会員の皆様はすでに当事者意識を失っているのでしょうか。それとも改正に必要な運動はだれかがやってくれるということなのでしょうか。

5 月末から社会保障審議会介護保険部会がスタート、7 月 26 日、30 日にも連続して開催されます。また、介護給付費分科会も 27 日にスタートします。来年の通常国会にかけられる改正内容は 11 月中には決まってしまう。

会員の皆様のご意見をお願いするとともに、1 団体 5 名を「介護 1000 万人の輪」へ登録して積極的に運動を支えてください。

## 「介護 1000 万人の輪」政策討論会 in 仙台 9 月 12 日開催!

市民目線に立った改革案づくりを——介護保険 10 年を振り返って——

日 時：2010 年 9 月 12 日（日）13：00～16：30

会 場：仙台市青年文化センター

シアターホール（定員 584 名）仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5 TEL 022-276-2110

○基調講演 —2012!! 1000 万人の声を届けよう—

講師 樋口恵子 「頼りになる介護保険、愛される介護保険」

○パネルディスカッション

- ・コーディネーター 高橋誠一（東北福祉大学教授）
- ・パネリスト 樋口恵子（講演者）  
郡 和子 民主党宮城県連幹事長  
小野寺五典 自民党宮城県連会長  
渡辺孝男 公明党東北方面副議長  
福島かずえ 共産党仙台市議会議員団長  
阿部知子 社民党本部政審会長  
きくち文博 みんなの党宮城代表

■主催：介護保険を持続・発展させる 1000 万人の輪

■共催：NPO 法人 市民福祉団体全国協議会 / 高齢社会をよくする女性の会 / NPO 法人 一万人市民委員会宮城 /

■後援：連合宮城退職者連合 / 宮城県老人福祉施設協議会 / 仙台市老人福祉施設協議会 / 認知症の人と家族の会宮城県支部 / NPO 法人 宮城県グループホーム協議会 / みやぎ宅老連絡会

お問合せ・お申込み：一万人市民委員会宮城 TEL022 - 293 - 8158 FAX022-293-8230

## お知らせ

# 高専賃「グランマ リバーサイド立川」売出し中！！

適合高齢者専用賃貸住宅（ペット可・天然温泉）

《マイセーフティーサポーター》～毎日も、万一のときも安心～

日常の暮らしの相談から税金・年金・法律・健康相談など入居者の日々の暮らしのご不安やご要望、万一のときの困りごとにも対応してお手伝いします。高齢者介護事業及び施設運営のノウハウを活かした万全のサポート体制で、暮らしに大きな安心をお届けします。

□安心な医療機関との連携

□安全な24時間のセキュリティ

介護サービスを受けながら快適な暮らし

お問い合わせ：（株）日本トータルライフ 電話：042-678-6720

詳細はこちらから

[http://www.r-home.jp/o-home/tokyo/tachikawa/granma-riverside\\_tachikawa.html](http://www.r-home.jp/o-home/tokyo/tachikawa/granma-riverside_tachikawa.html)

## 第4回シニアライフコーディネーター養成講座

あなたも高齢社会や地域で活動する、シニアライフコーディネーターになりませんか？

- ・ 高齢社会の課題を探り、自己実現できる活動を実践できる人を育てます。
- ・ 行政や企業で仕事する時、シニアの課題や実態を基礎から学べます。

講師：田中尚輝、松原惇子氏他

日時：平成22年9月～11月の間の6日間（各日とも9：30～16：30）

会場：東京都中小企業振興公社会議室（JR秋葉原駅5分）他

受講料：30,000円

詳細はこちらから・・・<http://www.seniornet.ne.jp/4shiniaraifu.pdf>

お問い合わせ関東シニアライフアドバイザー協会

電話 03-3495-4283・FAX 03-3495-4342

## 『WAC 散歩 旅行同好会』よりお知らせ

### 大山阿夫利神社、恒例の火祭り薪能

入場について一般のお客様は抽選となりますが、当WACポイントでは大山先導師との関係で、WACの会員であれば抽選無しで参加できます。但し締め切りが一般公募との関係上8月20日（金）となります。本薪能は大山阿夫利神社、神事の火祭りの一部として行われ、神事も同時に見ることができます。能舞台は他の薪能のように仮設舞台と異なり、様式を備えた本格的舞台です。

1) 火祭り薪能 初日 平成22年10月5日（火）午後4時開演

2) 演目

1.能 脇能「翁・日吉の式」 シテ 観世清和（観世家家元）

2.狂言 「福の神」-福神狂言・神者- シテ 山本則俊（東次郎当主山本東次郎 弟）

3.能 四番目 「三輪」 シテ 関根宏祥人

3) 演目詳細解説および能に関する各種資料のご要望がありましたら送付いたします。

4) 参加料 13,000円

5) 集合場所および時間 山荘なぎさ(宿泊旅館)午後2時。初めての参加の場合はお知らせください案内状を送付いたします。

6) 締切日 平成22年8月20日(金) 締切日以後のキャンセルは3,500円かかります。

申し込み先 金木昭喜 〒234-0053 横浜市港南区日野中央3-5-6 F A X 045-833-5700

## 「こうれいしゃ 死から生へ」

介護保険推進機構顧問弁護士 村田 光男

### 16 ガン告白

B男と同じテーブルのD子が珍しく職員bに話しかけた。食堂でのことだ。

「私、肺ガンですよ・・・」

「えっ。先生が告知なさったのですか。」

「いいえ。」

「ではどうして。」

「たばこ、好きでしょ。」

「でも入所なさってから吸っておられないでしょ。」

「若いころから吸ってたので、私の肺、まっ黒ですよ。進行が遅いから生きている。」

「受診しましょう。病院で。早期発見ですよ。」

「あはは・・・私は88歳。もうそれだけで、お・そ・い・・・」

「(高齢者のガン治療はどうなっているのだろう。ホーム長に話さなくては・・・)」

「ほっておいて下さい。悲しむ人もいません。ひとりだから。子どもも夫もいない。兄弟姉妹は皆死にました。」

D子は席を立てて自室に向かった。足取りはむしろ軽く見えた。

「(ガンの告白・・・なぜ足取りが軽いのだろう・・・)」

D子はそのまま天国に舞い上がるような軽い足取りで食堂を出て行った。生きることへの執着はまるでないように見えた。

「(誰も悲しまない死。それを知って今を生きている。私たちの介護とは何なのか・・・)」職員bは思った。

### 17 葬儀

「あさって。私の葬式があります。来て下さい。」B男と同じテーブルのE子が部屋から電話をかけている。認知症が進んでいる入所者ではないが、このE子もめったに話をしない。大きな声だから、廊下に漏れた。職員bが通りかかった。

「私は亡くなったのでお葬式なんです。来て下さい。」

電話の向こうの人の声は聞こえない。

「(何と応えているのだろう。)」職員bは思った。

「ここで葬式をやります。」

「(ここでやるって、E子さん、あなたは生きている)」

「私はもう85歳ですから死にました。」

「(何かが混乱している。Eさんの認知症は重度じゃないが・・・)」

E子は電話を切ると再びダイヤルを回しはじめた。自分の黒電話を持参していた。

「私は亡くなったのでお葬式なんです。来て下さい。」

「(ひょっとして、せん妄・・・)」

なだらかに認知能力が低下する認知症と違い、せん妄は一時的に一気に認知能力が低下する意識障害だ。意識混濁、つまり、意識のレベル低下が見られ、判断力がなくなったり、感情、思考、知覚に問題症状が出る。錯覚と幻覚、そして精神的な興奮などだ。

「(なぜそんな症状が出たのか。原因はなんだろう。)」

E子はひとり暮らしだった。結婚歴はない。家族はいない。この老人ホームに入所したときはひとりぼっちだった。普通の賃貸アパートにひとり暮らし。楽しみは和菓子だった。羊羹一本をぺろりと食べた。大福もよく買った。近くの和菓子屋だった。気の利いた和菓子屋だった。普通の大福ならせいぜい豆が4つくらいしか入っていない。ここの大福は粒あんの中に10個は大豆が入っていた。甘さもちょうど良く、大豆の塩加減とよく合った。粒あんと大豆がミックスしたところで緑茶を飲むのが何よりの楽しみだった。そのためかどうかわ定かではないが、E子は糖尿病を患っている。せん妄らしき症状のひとつの原因なのかも知れない。

E子の葬式騒ぎは1日で収束した。家族はいなかったので、かけた電話の先は、皆友達だった。自分がお世話になったと思っている人にすべて電話をしたようだ。いくつか老人ホームから問い合わせがあったが、騒ぎにはならなかった。その電話を受けた人で、心配して訪ねて来る人はいなかった。

「E子さん。夕食の用意ができました。」職員bがドア越しに伝えた。

「はい。」

それから10分してもE子は食堂に現れなかった。

「E子さん。入りますよ。」職員bが部屋に入ると、鏡に向かってE子は泣いていた。

「どうしたの、E子さん。」

「・・・」

「お腹でも痛いのですか。」

「・・・」

「どうしました。」

「この方が葬式にきてくれました。」

E子が指さした相手は、鏡に移ったE子自身だった。

職員bは食堂に戻った。それ以上話し相手になる時間はなかった。

翌日、E子は職員bに付き添われて精神科を受診し、その日のうちに入院となった。

**このFax通信は下記の団体・法人のご支援で発行しています。**

介護サービスさくら おもいやり支援センターくまの グリーンコープ たすけあい佐賀  
全労済 宅老所を全国に広める会 コミュニティシステム合同会社